

新学習指導案 令和4年度～（記入例）

【参考】『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 令和3年8月 国立教育政策所教育課程センター

○○科（ ）学習指導案 ○○高等学校 ○○科 ○年 令和○○年○○月○○日（○）第○時限 場所：○○○○ 指導者：○○ ○○			
単元(題材)名			
学習指導要領上の位置づけ	学習指導要領の各項目の「内容」に示された項目を記す。(内容のまとめ)		
単元(題材)の目標	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」のすべての内容を踏まえて記す。		
単元(題材)設定の理由	＊この単元(題材)全体についての指導方針を述べる。[指導者の立場で書く] (1) 生徒観 ・教科で身に付ける資質・能力の点で、学年目標への達成状況等について具体的に記す。 ・これまでの学習経験や既習事項の習得状況等(生徒がどのような学習を積み重ねてきたか、どのような実態にあるのか)を記す。また、その実態を踏まえて、当該単元(題材)の学習で身に付けさせたい力について記す。 (2) 教材観 ・教科で身に付ける資質・能力育成の観点から単元(題材)で育成できることについて、具体的に記す。 ・生徒観を踏まえ、単元(題材)の目標を実現するために扱う教材の系統性、特徴、意義、価値等について記す。また、既習単元(題材)との関連や今後の展開等についても触れる。 (3) 指導観 ・単元(題材)の目標を実現するために、(1)で記述した生徒の実態を踏まえ、(2)で記述した教材を用いた有効な指導の方針や方法を記す。 ・単元(題材)の目標の実現に向けた、生徒の実態に応じた教材の活用方法や言語活動を適切に位置付けた授業構成、指導形態や環境設定の工夫等について記す。 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導上の工夫や手立てを明確に記す。		
単元(題材)の評価規準	知識・技能※	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【高等学校 各教科】 (国立教育政策研究所教育課程センター)を参考にする。		

※職業に関する教科は知識・技術

◇指導と評価の計画

	時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	授業づくりのポイント
学習の流れ	0	健康観察、準備運動、用具の点検、本時の学習内容の確認																・中学校で剣道を選択していない生徒もいるため、前半は基本動作を中心に行う。 ・ICTは技の出来栄を確認する場面、課題解決の方法について他者に伝える場面で活用する。 ・2～7時間目にかけて、各技の具体的な知識と汎用的な知識を組み合わせさせて指導し、それぞれの時間に学習した行い方のポイント等を学習カードに記載させる。 ・2、5、7時間目に技の行い方を指導し、一定の期間をおいて形成的な評価を行い、努力を要する状況と判断される生徒に対する指導の手立てを講じる。 ・9～12時間目の課題別学習や簡易試合の際に、技能の指導事項についての評価機会を設ける。
	10	オリエンテーション（復習含む） 健康・安全上の留意事項	○基本動作 ・構え ・体さばき ○基本技の復習	○既習技の復習 新たな技の習得 ○出ばな技		新たな技の習得 ○引き技 技①⇄知③（引き面）	技②⇄知③（引き面）	新たな技の習得 ○抜き技	○課題別グループ学習 ・既習技 ・ICT活用（動画） ・見取り稽古	○既習技の	○簡易試合 ・個人戦 ・団体戦	○簡易試合 ・個人戦 ・団体戦	○単元（学習カード）のまとめ					
20	新たな技の習得 ○引き技 技①⇄知③（引き面）		技②⇄知③（引き面）	技③⇄知③（小手抜き面）	○約束稽古 ・ICT活用（動画）	○自由稽古 ・ICT活用（動画）	○簡易試合 ・ルールの確認、修正 ・審判、運営											
30	○約束稽古 ・ICT活用（動画） ○自由稽古 ・ICT活用（動画）		○約束稽古 ・ICT活用（動画）	○自由稽古 ・ICT活用（動画）	○簡易試合 ・ルールの確認、修正 ・審判、運営													
40	学習カード記入、健康観察、整理運動、用具の片づけ、本時の振り返り、次時の確認																	
50																		
評価機会		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	評価方法
	知識	①	③			③		③		②								総括的な評価
	技能				①		②		③		①	②	③					
	思・判・表									①			②					
態度			②												①			
単元の評価規準	知識	①剣道を学習することは、自国の文化に誇りをもつことや、国際社会で生きていく上で有意義であることについて、言ったり、書き出したりしている。 ②試合の行い方には、簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 ③それぞれの技を身に付けるための技能的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。																
	技能	①相手と接近した状態にあるとき、隙ができた面を退きながら打つことができる。（引き面） ②相手が打とうとして竹刀の先が上下に動いたとき、隙ができた面を打つことができる。（出ばな面） ③相手が小手を打つとき、体をかわしたり、竹刀を頭上に振りかぶったりして面を打つことができる。（小手抜き面）																
	思・判・表	①自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。 ②相手を尊重するなどの伝統的な行動をする場面で、よりよい所作について、自己や仲間の活動を振り返ることができる。																
	態度	①相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ②健康・安全を確保している。																

◇本時のねらい（第 時）

- ※ 指導と評価の計画の該当する時間との整合を図り、生徒に実現させたいねらいについて、生徒の立場で書く。
- （例）〇〇に関する社会的な課題について、解決策をグループで話し合うことを通して、自分自身の考えを表現する。

ねらいを達成するために、適切かつ効果的な学習活動となるよう工夫する。

◇指導過程

段階	学習活動	時間 (分)	◇指導上の留意点 ◆評価規準【観点】（評価方法） ※◆の次にAの具体的な姿の例と、Cへの手立ても記す
導入	[生徒の立場で書く] (例) 1 前時までの内容を振り返り、本時のねらいを把握する。		[指導者の立場で書く]
	生徒に示す本時のねらいや学習課題 (例)「〇〇に関する社会的な課題を解決しよう。」		
展開	2 〇〇の課題を把握する。 (1) グループでグラフデータと新聞記事から〇〇に関する課題を発見する。 (2) 課題を板書し発表する。 3 〇〇に関する課題の解決策について考える。 (1) グループで課題の解決策について話し合う。 (2) グループごとに解決策を発表する。 (3) 多様な解決策があることを知る。 (4) 発表をもとに解決策についての自分自身の考えをワークシートにまとめる。		◇学習活動について、指導上の重点、工夫、手立て、支援等について留意すべきことを具体的に記す。 (例)・生徒一人一人の学習進度に応じた手立て ・生徒が主体的な学習を進める手立て ・資料提示の機会や方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫 ・つまずきのある生徒への支援 [文末表現例] ○ ～助言する × ～説明する ～配慮する ～指導する ～を促す ～させる ◆〇〇の課題の解決策について、自分自身の考えを表現している。 【思】（ワークシート） A:〇〇の課題の解決策について、現実的・具体的に考え、表現している。 C:本時の活動について質問したり、他者や他グループの意見や発表の内容について確認したりして、〇〇の課題解決策について自分自身の考えをもてるよう支援する。
まとめ	4 本時の学習内容を整理し、ねらいが達成できたかどうかを振り返る。		※A:Aと判断する根拠となる生徒の具体例を記す。 ※C:Cと判断した生徒に対する、具体的な指導や支援の手立てを記す。

【知・技】知識・技能
【思】思考・判断・表現
【態】主体的に学習に取り組む態度

資料	ワークシート、〇〇を表したグラフデータ、新聞記事
----	--------------------------